

○「集落役員へ話し合い推進の打診手法を変更」

(京都府京丹後市丹後町地区連絡会議)(平成30年度8月)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年8月10日 午後6時~7時30分
- 場 所: 京丹後市役所丹後庁舎
- 出席者: 農業委員2人、最適化推進委員3人
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 竹野川両岸の水田地帯と沿岸の水田農業が中心
- 大規模経営法人と担い手農家による水田経営が展開されている
- 宇川地域で再び場整備事業がスタートして受けて法人の設立が課題

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農地利用状況調査は益過ぎに実施して再判定同行の日程調整
- 話し合い重点地区(成願寺)の働き掛けを農事組合の事務担当の役員へ現地推進役からの推進に変更
- 丹後町内の集落の担い手の状況と集落の現状を報告協議
- 上宇川地区の土地改良組合の活動進捗報告
-
-
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 1.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援